

幸田町の協議体

協議体（きょうぎたい）とは、地域に関心のある人が集まり、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、今行っていることや自分たちに無理なくできそうなことを話し合う取り組みです。



協議体の役割

協議体は、少子高齢化や担い手不足による地域活動の減少がきっかけとなって作られました。協議体では地域の支え合い活動の情報を共有したり、将来に向けて「自分たちのまちをどのようにしていきたいか」といったことを話し合っています。そうした話し合いの中で、今ある活動同士をつなげたり、見守り活動や居場所づくりの充実を考えたり、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりをできる範囲で進めていきます。

協議体の特徴

「協議体」と言うと堅いイメージを抱いてしまいがちですが、実際は「地域のおしゃべり会」です。地域に関心がある人たちが集まって「普段のこと」をおしゃべりする。その中で「これがあつたらいいね」「こんなことができたらいいいね」という話をふくらませていく。情報共有から、みんなが始められそうなことを見つかったらそれについて話す。言い換えると、「地域」をテーマにした茶話会です。



幸田町の協議体の紹介

幸田町には、北部（坂崎・幸田学区）、中部（中央・荻谷学区）、南部（深溝・豊坂学区）に1つずつ協議体があります。

参加するために必要な資格や要件はありません。どなたでも参加できます。いろいろな立場の人が集まって地域の情報を交換しています。



北部協議体（坂崎・幸田学区）



中部協議体（中央・荻谷学区）



南部協議体（深溝・豊坂学区）

高齢者が歩いて行ける距離で気軽に立ち寄れる場所があるといいね。



子どもの通学路は安全の確保がされているかな。子ども110番の家はどこにあるかな。

※協議体で挙がった意見の一例

社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが協議体の支援をしています。「協議体に参加したい!」「話を聞いてみたい!」と思われた方は下記までお問い合わせください。

問合せ 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会
担当：生活支援コーディネーター
TEL：0564-62-7171

